

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課
☎493-2091

市内中学校生徒会交流会

市では、中学校生徒会代表などが一堂に会し、お互いの活動についての交流および共通のテーマについての情報交換や協議を行うことにより、生徒の自主的・主体的な姿勢を育むとともに、市内中学校における生徒会活動の充実に向けた取組を推進するため、生徒会交流会を開催しています。

8月29日にエブノ泉の森ホール大会議室に、各校より生徒会執行部や生徒会活動に関心のある生徒が集まりました。司会進行は中学生が行い、緊張をほぐすために、まずは簡単なレクリエーションを行いました。すぐに他校の生徒とうちとけ、会場は歓声や笑い声に包まれました。次に、各校で取り組んでいる生徒会活動で交流しました。各校オリジナルの活動を、お互い真剣な表情で聞いていました。そしてメインイベントのグループ討議です。テーマは「(いじめ)」をなくしていくために生徒会ができることって何だろう?」です。各グループで討議し、パソコンを使用して意見をまとめていきます。どの班も活発に自分の考えを出

し合っていました。その後、各班よりパソコンでまとめたスライドを提示しながら、話し合ったことを発表しました。特に「(いじめ)」をなくしていくために、生徒会としてできることについては「全校集会などで伝えていく」「劇や動画などを通していじめはダメだと発信する」「自分たちでいじめに関する相談を受けるなど、誰かに相談できる環境づくりを行う」「みんなで意見を出し合う機会をつくる」「レクリエーションなどを企画してお互いに交流する機会を増やす」「いじめられている人が悪いわけではないと伝える」「おとなに頼る」などの意見が出ました。最後に、今日の話し合いを各校に持ち帰り、自分たちの学校をよりよくするために生徒会活動を進めていくことを確認し、閉会しました。

自分たちの学校を自分たちで良くしていく生徒主体の活動をこれからも推進し、誰もが安心・安全に過ごせる学校をめざして取り組んでいきます。

学校園紹介

自らの生き方を創る子どもの育成 ～佐野台小学校～



佐野台小学校は市の体育特認校としてアップタイムに取り組んでいます。アップタイムは週に3回、2、3時間目の間の15分間に、全校児童で楽しく体を動かすためにあります。サー

キットトレーニング、なわとび、リズムジャンプをします。リズムジャンプでは流行の曲などを使ってダンスをします。リズム感を養いながら、身体をきたえて楽しみます。



また、体育特認校として日本体育大学へのスポーツ研修も行っており、毎年5年生が東京にある日本体育大学に新幹線で行きます。日本体育大学は柔道、トランポリンなどのオリンピック選手もたくさん出しているスポーツを学べる学校で、運動や健康についても学ぶことができます。昨年は和太鼓でいろいろなたたき方を教えてもらったり、体幹をきたえたりしました。

また、競技用のトランポリン、フライングディスクの体験や心臓マッサージなどもしました。他にも成長期に必要な栄養についての勉強や、バランス感覚や瞬発力をきたえるトレーニングなどを学びました。



佐野台小学校はさまざまな取組を行い、子どもたちが心身ともにバランスの取れた成長ができるように努力していきます。

先輩から後輩へ～受け継がれる梅ジュースの思い出～ ～第三小学校～



第三小学校は、創立74周年の歴史ある学校で、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業研究に取り組んでいます。敷地内に「果樹園」を持つ、珍しい学校でもあります。この果樹園には現在8種類もの樹木が育ち、1～5年生までの児童は、6年生が果樹園の梅の実で作ってくれる「梅ジュース」を、毎年とても楽しみにしています。

今年も5月下旬に、たわわに実った熟す前の青い梅の実を6年生が脚立や木に登って一生懸命収穫しました。そして、校務員さんと一緒に実の黒いへたを一つずつ根気よく丁寧に取り除いた後、たらいやバケツに移して水できれいに洗い、水気を取った梅の実と氷砂糖を、消毒した瓶に入れました。



それから約1ヵ月半後の水泳授業最終日、梅シロップと水を混ぜた梅ジュースの爽やかな酸味とフルーティーな香りを楽しみながら、今年もみんなで梅ジュースを美味しくいただくことができました。

地域の温かい支援を受けながら、第三小学校では先輩から後輩へと良き文化が受け継がれていきます。